

さかきばくざん
三重県誕生150周年記念 生誕100年 榊莫山展

Sakaki Bakuzan: The 100th Anniversary of His Birth
and the 150th Anniversary of Mie Prefecture



かんざんじつとく
①《寒山拾得》1994年 三重県立美術館

2026年4月4日[土]から5月31日[日]まで
三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum

「バクザン先生」の生誕100年を記念する大展览会！！

詩情あふれる詩書画一体の作品と飾らない人柄で、多くの人々に愛され続ける榊莫山(さかき ばくざん 1926-2010)。現在の三重県伊賀市に生まれた莫山は、少年時代から書や絵画に親しみました。終戦後の奈良で書家・辻本史邑(つじもと しゅう 1895-1957)に出会い、書の世界に入ります。公募展で受賞を重ね注目を集めながらも、のちに所属していた団体を退会。独自の創作活動に専念しました。

日本や中国の書史を研究し、文学者、哲学者、美学者など先学に教えを乞い、さらには、道標や看板といった「路傍の書」を訪ね歩き、独自の研鑽を積みました。「土」や「女」、「樹」などの漢字一文字を大胆に扱った作品や、書と絵、詩を融合させた詩・書・画一体の作風を確立し、現代の文人と称されました。

三重県立美術館は、2011年に生前の作家の意思に基づき、108点の作品寄贈を受けました。今回の展览会では、これらの寄贈作品を一挙公開いたします。

三重県誕生150周年の節目に、三重の自然や風物から生まれた、多様で生命力あふれる榊莫山の世界をお楽しみください。



②《青山高原ノ風(伊賀八景)》1994年 三重県立美術館

■ みどころ & おすすめのポイント

✓ 圧巻の全108点！作家選出・珠玉のコレクションを一挙公開

2011年に作家の遺志に基づいて寄贈された作品群を、余すことなく公開します。県立上野中学時代の作品から晩年の円熟味あふれる作品まで、莫山芸術の全貌を一望できる貴重な機会です。

✓ 「本籍は書家だが、現住所は不定」

戦後書壇の旗手として脚光を浴びながらも、権威や組織に縛られることを嫌い、孤高の道を選んだ榊莫山。「私の本籍は書家だが、現住所は不定」という言葉の通り、自らの芸術領域を限定することなく、多様な作品を生み出しました。本展では、独創的な莫山の芸術世界に触れていただけます。



③《土》制作年不詳 三重県立美術館

✓ 現代の文人が紡ぐ 詩書画一体の世界

中国の文人文化では、詩作・書道・絵画のすべてに通じていることがひとつの理想とされました。日本でも江戸時代に優れた作品が生まれています。文人画の伝統を現代に復活させた、莫山流の詩書画一体の作品は、莫山の真骨頂と高く評価されています。言葉と絵が響き合う世界は、見る者の心にまっすぐに届き、日々の生活を慈しむ「文人の心」を現代の私たちに伝えてくれます。

✓ 三重県誕生150周年、不世出の表現者を振り返る

伊賀に生まれ、三重の自然を愛した莫山。その作品に宿る力強さや素朴な美しさは、この地の自然や風物に育まれたとえるでしょう。三重県誕生150周年という記念すべき年に、郷土が育んだ偉大な芸術家の足跡を辿ることは、地域文化の奥深さを再発見する機会となるはずです。

■ 関連プログラム

担当学芸員によるスライド・トーク

日時 4月19日[日]、5月16日[土]

*両日とも午後2時から(30分程度/午後1時30分開場)

場所 三重県立美術館 講堂

*直接会場にお越しください。

定員 140名

*事前申込不要、当日先着順、参加無料

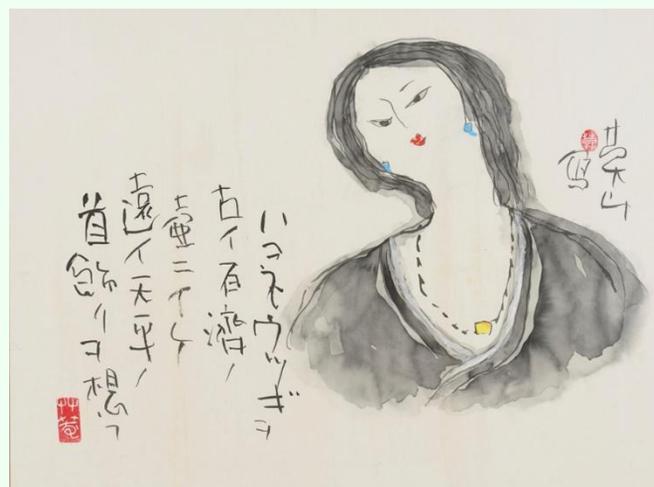
*両日とも同じ内容になります。*手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。



④ 《野路》 2009年 三重県立美術館



⑤ 《カニ》 1994年 三重県立美術館



⑥ 《天平ノ首飾Ⅱ》 1994年 三重県立美術館

■ 開催概要

2026年4月4日[土]－5月31日[日]

開館時間：午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(ただし、5月4日は開館)、5月7日[木]

主催：三重県立美術館

後援：伊賀市、伊賀市教育委員会

助成：公益財団法人三重県立美術館協力会

観覧料：一般800(600)円／学生600(400)円／高校生以下無料

()内は20名以上の団体割引料金

- ・「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もあわせてご覧いただけます。
- ・生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。
- ・障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- ・教育活動の一環で県内学校(幼・小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。
- ・4月19[日]、5月17日[日]の「家庭の日」は団体割引料金でご覧いただけます。

■ 広報用画像について

本プレスリリース掲載の①から⑥の画像を広報用に提供します。ご希望の方は下記注意事項をお読みの上、ご連絡ください。ご希望の画像データをお送りします。

- ・作品画像のご使用は、本展の広報目的の場合に限ります。本展終了後は使用できません。
- ・作品画像への文字のせ、画像トリミング、その他加工はご遠慮ください。
- ・掲載にあたっては、作家名、作品名、所蔵者名を記載してください。
- ・ウェブサイトに掲載する場合は、コピーガード(右クリック不可)をかけてください。コピーガード対応ができない場合には、72dpi 以下もしくは400×400pixel 以下の解像度でご掲載ください。

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 道田(みちだ)、村上、桐谷(広報)
〒514-0007 三重県津市大谷町11
TEL. 059-227-2100(代表)／FAX. 059-223-0570
E-mail: bijutsu2@pref.mie.lg.jp